

おおつる交流センター便り

よろ一え 大津留
No.60

みつまた群生地整備の様子



2月6日(日)、
昨年続き、竹の中地区で群生する“みつまた”を多くの方々に安心して楽しんでいただくための管理作業を行いました。

特に、林道大分中部線の柚の木地区平原から現地まで、車両の支障となる草木や落石の除去を行いました。

また、現地では土地を所有する大津留仁さんと合流し、景観の妨げとなる雑木などの伐採や、剪定を行いました。
間もなく花が咲き、見頃を迎えます。



13日・20日(日)
9時~15時
センター開けます♪

お餅で作った もっふる
お汁粉
食べに来て
ください♪



3月号の『月刊セーノ!』
P47にセンターの紹介が
掲載されました♪

令和4年3月10日
大津留まちづくり
協議会発行
☎080-7989-1497

お知らせ

今月のおおつるマーケットは**中止**です

おおつるの人々④

竹の中地区
大津留 仁さん(73歳)
マサシ

今年も、竹の中地区の『みつまた』観賞を楽しめる季節となりました。山の所有者の大津留仁さんは、60歳の時、38年勤めた大分市役所を、「さすがに疲れた〜バンザイ!〜」という気持ちでスパッと退職し、雑木林だった山の整備を本格的に始めました。きっかけは、台風で杉の木が倒れダメになった事。杉の代わりにと、銀杏の苗を地域の方と3人で大切に育て、百本植え、10年間管理してきました。元々ポツポツとあったみつまたは整備するごとに増えていき、10年前からはまち協メンバーも整備に参加し、今のような庄巻の群生地になりました。

また、千五百本のブルーベリーの木も管理していらつしやるとのこと。「今思うと、山や木が好きなのは、おやじの血を引いてるんだと思う。」とお父様といういろいろな山に出向き、珍しい木を見つけて歩いた思い出を話して下さいました。「大郷のため池」の工事が終わったら、鯉を放したいなと次の楽しみを考えていた大津留さん。囲碁が趣味とのことと一緒に楽しめる方を募集しております。

囲碁や将棋のセットの寄付も、センターで募集致します♪
しつぽり楽しませませんか?

大津留の地域づくりに関するご意見、ご要望「よろ一え」の感想等をお寄せください。